

## 焼却灰（飛灰）の変異原性試験 試料中の被検物質の濃縮及び回収

**抽出** ガラス製の 50mL ねじ口遠沈管に飛灰 5g を入れ、ジメチルスルホキシド（DMSO）を 30mL（6mL/g）用いて 200spm で 10 分間往復振とうする。

**遠心分離** 3000rpm で 10 分間遠心分離する

**回収** DMSO 層を 20mL 採取する

**抽出** 2 回目

DMSO を採取量と同じ 20mL 加え、200spm で 10 分間往復振とうする

**遠心分離** 3000rpm で 10 分間遠心分離する

**回収** DMSO 層を採取する

**回収液の混合** 1 回目、2 回目の回収した液を各 5mL を混合したものを滅菌ろ過したものを  
変異原性試験に用いる

廃棄物焼却炉飛灰の変異原性試験のための試料調整方法

吉野秀吉 浦野紘平

廃棄物学会論文誌 Vol. 4、No.2、pp74-71 1993